

News Letter

高病原性鳥インフルエンザの防疫対策 ～ 鳥取県拠点においても 鳥インフルエンザ発生時の防疫演習を実施 ～

近年、日本国内や近隣諸国では口蹄疫や鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病が断続的に発生しており、家畜伝染病の国内への侵入リスクは年々高まっています。

海外でも、本年、野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されています。

鳥インフルエンザは、渡り鳥によってウイルスが国内に持ち込まれ、野生動物を介して家畜に伝染する可能性があり、本格的な飛来シーズンを迎えるこの時期は、その発生リスクが極めて高くなります。

農林水産省としても、9月に各都道府県に対して、高病原性鳥インフルエンザ等の発生予防及び発生時のまん延防止について対策を強化するよう、周知したところです。

鳥取県においては、10月4日に鳥取県東部庁舎で図上訓練を、同20日に琴浦町立平岩記念館、26日に日野町文化センターでそれぞれ防疫演習が行われ、鳥取県拠点の職員もこれらに参加しました。

鳥取県拠点でも、11月9日に鳥取第1地方合同庁舎において、鳥取県内で休日に高病原性鳥インフルエンザが発生したことを想定し

た防疫演習を実施し、迅速かつ的確な対応・体制の確認を行うとともに、鳥取県鳥取東部家畜保健衛生所から講師を招き、鳥インフルエンザの症状や伝播方法、発生時における現地での作業内容等について講義を受け、本病発生時の派遣要請に応えられるよう、防疫服の着脱訓練を実施しました。



防疫服着脱訓練の様子

鳥インフルエンザのまん延防止には、鳥類の所有者や獣医師等が異常を発見した際に、迅速に家畜保健衛生所に通報することが最も重要です。趣味等で小羽数の鳥類を飼われている場合についても、異常を認めた場合は速やかに最寄りの家畜保健衛生所に通報していただきますよう、ご協力をお願いします。

鳥インフルエンザに関する情報については、下記URLでご確認ください。

農林水産省: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

中国四国農政局: <http://www.maff.go.jp/chushi/anzen/inf/index.html>

平成28年鳥取県中部を震源とする地震情報

10月21日に発生した鳥取県中部地方を震源とする地震について、中国四国農政局においては地震発生当日、中国四国農政局長を本部長とする「中国四国農政局災害対策本部」を設置しました。

農林水産関係の被害状況等について、下記サイトで掲載しております。
情報は随時更新しておりますので、ご確認ください。

農林水産省: <http://www.maff.go.jp/j/saigai/zisin/281021.html>

中国四国農政局: <http://www.maff.go.jp/chushi/mokuji/saigai.html>

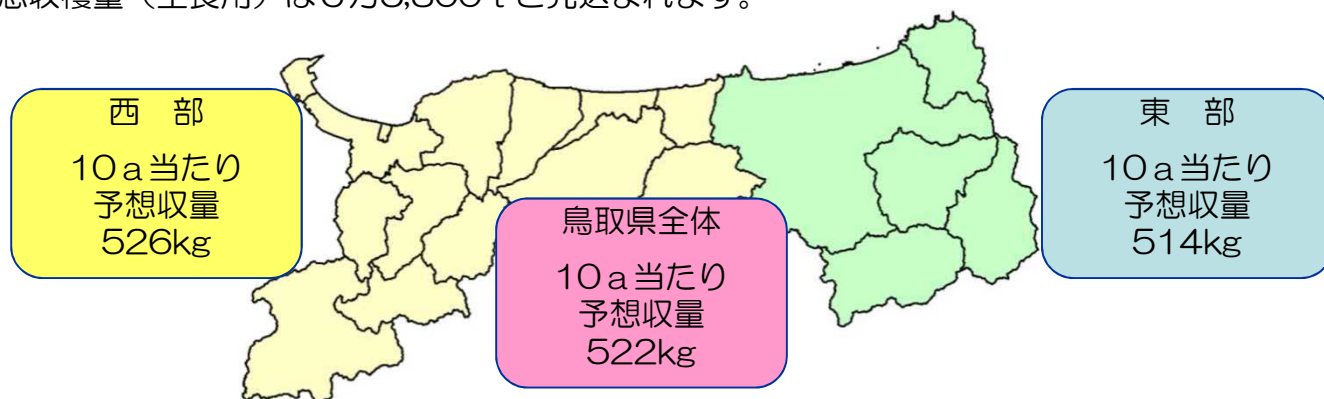
平成28年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在) を公表しました。

中国四国農政局は、平成28年10月28日、平成28年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国四国地域）について公表しました。

鳥取県における平成28年産水稻の作付面積（子実用）は1万2,700haで、前年産に比べ200ha（2%）減少しました。また、主食用作付見込面積は1万2,500haと見込まれます。

10月15日現在における10a当たり予想収量は522kgで、前年産に比べ10kgの増加が見込まれます。また、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）ベースの作況指数は102（やや良）と見込まれます。

予想収穫量（子実用）は6万6,300tで、前年産に比べ300tの増加が見込まれます。また、予想収穫量（主食用）は6万5,300tと見込まれます。



詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。

http://www.maff.go.jp/chushi/press/t_toukei/161028.html